

学校給食における異物混入について（報告）

1 発生日時・場所

- ① 平成29年12月13日（水）の給食時（12時30分頃）
- ② 神西小学校（6年）

2 発生時の状況

- ① 神西小学校6年教室に配食された、米飯の食缶の中に、黒い金属の棒（長さ7センチ、直径5ミリ）1個が混入していました。
- ② 食缶を開けた際に異物を発見しており、児童、担任に配食はしていないので、口にはしておりません。すぐに担任が教頭に連絡し、教頭から出雲学校給食センターに連絡がありました。（12時40分頃）

3 発生後の対応

- ① 12時50分頃に同センターの副所長と栄養士が学校に到着、現状を確認しました。
- ② 同センターは、学校から連絡を受けた後、13時15分から40分にかけて、所管の全学校等に連絡しましたが、すべて給食は終了していました。その際、異常がなかったことを確認しました。
- ③ 加工・配送の委託先である(有)島根中央炊飯センター社長を呼んで、異物を確認したところ、米飯盛り付け機についている攪拌装置の一部が折れたものであることを確認しました。同社社長に対し厳重注意をし、今後の安全対策に万全を期すよう指示しました。
- ④ 同日、同社に出向き、米飯盛り付け機の作業の流れをチェックしました。攪拌装置の軸の締め具合が不十分であったことが原因と考えられます。再発防止策として、作業前後に加え、作業途中も時間を決めて機械を止め、複数で点検することを具体的に指示しました。
- ⑤ 出雲学校給食センター所長名で、神西小学校の保護者に、翌日14日にお詫びの文書を配付しました。
- ⑥ 翌日14日、15日にも同社に出向き、調理作業工程や、点検作業について確認を行いました。

(参考)

(有)島根中央炊飯センターについて

所在地 出雲市矢尾町552番地

12月13日の配食数

- ・出雲8,900食（小学校15校、中学校6校、幼稚園15園、すずらん教室）
- ・平田（おにぎりを提供）3,860食（小学校13校、中学校3校、光人塾）